



野木小学校だより

野ぎくの子

校長室から 2022/12/20

2022年度 学校教育目標

「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

【めざす児童像】

よく考える人・自分や人を大切にする人・チャレンジする人



読書は百利あって一害なし

- 【児童】 学校や家庭でたくさんの本を読みましたか。
 できた…40% だいたいできた…30% あまりできなかった…29% できなかった…2%
- 【保護者】 お子様はたくさんの本を読みましたか。
 できていた…21% だいたいできていた…31% あまりできていなかった…42% できていなかった…6%

これは2学期末に行った学校評価アンケートの結果です。先日の教育懇談会資料としてもお渡ししました。児童で7割が肯定的評価をしているのは心強いです。保護者では半数近くが、我が子の読書の様子に物足りなさを感じておられるようです。

子供の頃の読書の量が、学力や情操面に大きく影響してくることは、いろいろな団体の調査研究で実証されています。本来はなるべく早くから読み聞かせを行うことが効果的とされていますが、今からでも十分です。スマホやゲーム機を本に持ち替えて、親子で読書を楽しむ時間を少しでも増やしていただければと思います。

10月の学校だよりでもお知らせしましたように、現在4人の読書ボランティアの方々が毎週水曜日、1～3年生に読み聞かせをしてくださっています。9月には、校長も含めて全教員が読み聞かせを行いました。(1月にも実施します)またFBCのアナウンサーによる読み聞かせも行いました。さらに10月の読書週間には家族ふれあい読書に御協力いただきました。感想を読ませていただいて心が温かくなりました。読書によって親子の絆が深まるという大きな付加価値も感じましたので少し紹介します。



小学校時代に読んで心に残っている物語です。生きていくのに大切なことを教えてくれた気がします。今はカラーのさし絵がいっぱいでも大きくなり、すい分読みやすくなりました。その分、省略もありますが…

【家族ふれあい読書を終えての保護者の感想より】

- 「学校で習った」と教えてくれたお話がなつかしくて読みたくなり読みました。家族でこういう時間を過ごせるのはいいですね。
- 大きくなると親の気持ちを伝えるのが恥ずかしくなったりしますが、「本を読む」ことで伝えることができありがたかったです。とてもうれしそうにしていました。
- なかなか時間がなくて、一緒に本を読むことができませんでしたが、進んで弟たちに本を読んでくれていて、とてもうれしく感じました。
- 本を読む時間を1日のうち少しでもつくればいいなと思います。

御寄贈ありがとうございました

このたび福井銀行教育福祉財団様より以下の物品を御寄贈賜りました。今後大いに活用させていただきます。誠にありがとうございました。

- ・紙芝居舞台スタンド…2台
- ・スネアドラム…1台
- ・電子キーボード…2台
- ・ポップアップサッカーゴール…3組

福井銀行上中支店より本校卒業生の田中美鈴さんが学校まで目録を届けに来てくださいました。



～1月のおもな行事予定～

- 1月 1日(日) ●● 元日 野木地区新春ジョギング大会 午前8時スタート
- 1月 9日(月) ●● 成人の日
- 1月10日(火) 始業式 11:30一斉下校
- 1月11日(水) 給食開始
- 1月17日(火) 校内研究会 14:30一斉下校
- 1月18日(水) 冬休み明け確認テスト
- 1月24・26日(火・木) 教員による読み聞かせ
- 1月25日(水) 上中中学校新入生体験入学 午後
- 1月27日(金) 集金日



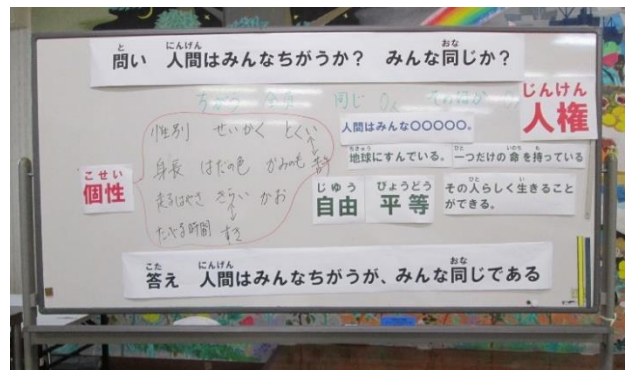
(人権集会での校長講話) 12月1日

みなさんに一つの問いを投げかけます。人間はみんな違うでしょうか、それともみんな同じでしょうか。みんな違うと思う人は？(ほぼ全員挙手) みんな同じだと思う人は？(0人…意外でした!) みんな違うと答えた人は、何が違うのか発表してください。

児童の意見…「性別」「性格」「得意なこと」「苦手なこと」「好きなこと」「きらいなこと」「身長」「肌の色」「髪の毛」「走る速さ」「顔」「食べる時間」など

人間は一人ひとりみんな違います。今、地球上には約80億人の人が住んでいますが、顔つきや身長、体重、肌の色などみかけだけでなく、考えていることや性格、好きなことやきらいなこと、得意なことや苦手なことなどみんな違います。同じ人は一人もいません。これを「個性」といいます。みなさんは世界でたった一人の自分であり、それぞれ違う個性を持ったとても大切な存在です。それと同時に周りの人もそれぞれが世界でたった一人の人であり、とても大切な存在なのです。

今言ったように、人間は一人一人みんな違いますが、みんな地球にすんでいる、一つだけの命を持っているということは同じです。また、自由である、平等である、その人らしく生きることができる、などということも同じです。これらをまとめて「人権」といいます。人権は生まれつきだれでも持っているとても大事なものです。特に「みんな」「その人らしく」というところが大事だと思います。どんな人もその人らしく生きていく権利があるのです。だから、「あの人は考えていることが少し変わっている」、「あの人は話が合わない」、「あの人は勉強が苦手だ」、「あの人は運動が苦手だ」



などといってからかったり、無視したり、仲間はずれにしたり、いじめたりなどということは絶対にしてはいけないことです。みんな一人一人違うのは当たり前だから、みなさんは堂々と今の「自分らしさ」「個性」を大切にしていってください。そして周りの人たちの「その人らしさ」も同じように大切にしていってください。「みんなちがってみんないい」ですね。

この大切な人権は、先ほどは生まれつき誰もが持っていると言いましたが、実は昔はそうではありませんでした。第二次世界大戦という大きな戦争でたくさんの人の命が奪われた反省から、国際連合で話し合っ、1948年12月10日に国際連合で「世界人権宣言」が発表され、世界中の人がたとえ国が違ってもお互いの人権を大切にしていこうと決めたのです

でも、今もどこかの国で戦争をしているし、どこかの学校でいじめが起きています。戦争もいじめも人権を大切にしない心から起きるものです。野木小学校でも、お互いの人権を大切に、これからもいじめのない楽しい学校を皆さん一人一人の手でつくっていきましょう。

日本では世界人権宣言ができた12月10日の前の1週間、つまり12月4日から12月10日は「人権週間」となっています。野木小学校でも明日は人権集会をして、人権についてよく考える機会としたいと思います。

初めの問い「人間はみんな同じか？ みんなちがうか？」について私の考えている答を言います。それは、「みんな違うが、みんな同じ」です。みなさんの考えはいかがですか？

12月2日の人権集会では、「福井県住みます芸人」「若狭町応援芸人」である**飯めしあがれこにおさん**(吉本興業所属)に人権講話をしていただきました。「悪口を言った方はすぐに忘れるが、言われた方はずっと心に傷が残る」「大勢で一人の人をいじめるのは絶対にやめよう」「つらいことや悲しいことがあったらお家の人や先生などに話そう」



など、大切なことを笑いを交えながら伝えていただきました。お話の後には、全校でのゲームにも参加していただき、すっかり人気者となったこにおさんです。渡辺町長さんとコンビで、M-1 グランプリに出場し、1回戦を突破されたとか…。今後のますますの御活躍をお祈りしています。